

【日本農業新聞 2015年8月4日付～8月10日付の紙面から】77回目

<コメント>

TPP閣僚会合の月内再開を目指した日米両政府の試みはとん挫し、冷却期間を置くこととなった。“ひと呼吸”置くことで、新たなものが見えてくることがある。米議会で承認を得た大統領貿易促進権限（TPA）法は、貿易協定調印後でも議会の追加修正ができる内容だということが明らかになった。これでは米政府も譲れないはずだ。一方の日本政府は、農産物の重要品目で大幅譲歩のカードをきっているもようだ。今こそ、「交渉からの撤退」を決断すべきだ。

<概要>

### ■TPP 早期妥結に全力／首相「国益を最大限実現」

【8月4日付3面】

安倍晋三首相は3日の政府与党連絡会議で、TPP閣僚会合が大筋合意せずに終わったことに、「最終決着を目指し、国益を最大限実現できるよう全力を挙げていく」と述べ、早期妥結に強い意欲を示した。甘利明TPP担当相は同日、安倍首相と会談後、記者団に「残された課題は限定的。今後は水面下の交渉を開始することになる」と述べた。

### ■国会決議 順守訴え／畜産ネットが閣僚会合報告会

【8月4日付3面】

全国の畜産・酪農団体でつくる「日本の畜産ネットワーク」は3日、米国ハワイ州でのTPP閣僚会合に合わせて派遣した代表団の報告会を東京都内で開いた。代表団は交渉が大詰めを迎えていることを報告。重要品目を「聖域」とすることを求めた国会決議に最後までこだわって交渉するよう、政府に重ねて訴えた。代表団15人は7月27～31日まで現地入りした。

### ■TPP 残る難題 知財だけ／甘利担当相 閣僚会合は進展前提

【8月5日付1面】

政府は4日の自民党の会合で、米国ハワイ州で同日から始まるTPPのルール分野の交渉について、実質的に知的財産分野だけが残る状況だと明らかにした。他の分野は決着済みか、今後、短期間で決着できる見込みだという。各国は、今月末に再び閣僚会合を開いて大筋合意を目指すため調整中。シンガポールでの開催案などが浮上している。

### ■日米協議 成果はTPP限り／FTAには反映せず

【8月5日付2面】

林芳正農相は4日、TPP交渉が妥結せずに、日米自由貿易協定（FTA）などが立ち上がった仮定に対し、TPPで日米が現在2国間で交渉している内容がそうしたFTAの前提に入ってくることはないとの認識を示した。「交渉の過程でやりとりした内容について、将来TPPとは別に当該国と経済連携協定（EPA）交渉を仮に行うことになった場合、

それに拘束されるということはない」と述べた。郡司彰氏（茨城）の質問に答えた。

## ■ T P P 閣僚会合で自民 最後まで決議守れ／政府の譲歩姿勢批判

【8月5日付3面】

自民党は4日、T P P 対策委員会と議員連盟「T P P 交渉における国益を守り抜く会」の合同会議を開き、甘利明T P P 担当相から閣僚会合の報告を受けた。甘利担当相は国会決議が、「日本の現状の数字（関税）から動かない、譲歩しないのでは、何のために(交渉に)入ってきたのかという話になる」と述べ、重要品目でも譲歩を容認する意向をにじませた。出席議員は政府にあらためて決議を順守するよう念押しした。

## ■ 聖域確保 厳格対応を／T P P で全開連要請

【8月6日付2面】

全日本開拓者連盟の西谷悟郎委員長は5日、東京・霞が関の農水省を訪れ、T P P 交渉で重要品目の聖域確保を求めた国会決議を踏まえ、厳格に対応するよう中川郁子政務官に要請した。牛肉関税の大幅削減などが報じられる中、妥結の内容次第で国内の農畜産業が大きな影響を受けると強調。国益を守るのが困難と判断した場合に、交渉から脱退することも求めた。中川政務官は「畜産業が発展するように頑張りたい」と述べた。

## ■ T P P 閣僚会合 月内の開催困難に／N Z なお強硬姿勢

【8月7日付1面】

政府は6日、T P P 閣僚会合の今月中の開催を見送る方針を固めた。甘利T P P 担当相が同日、首相官邸で安倍首相に交渉の見通しを報告後、記者団に示唆した。乳製品や知的財産分野での各国の対立に加え、自動車の原産地規則をめぐる日本とメキシコなどとの調整不足も課題に浮上。月内の対立解消は困難と判断したとみられる。日本の農産物をめぐる協議は、重要品目を含めて最終調整段階にあり、予断を許さない状況に変わりはない。

## ■ 米消費減「MA多過ぎる」／自民、在り方検証へP T 生産調整と矛盾

【8月7日付3面】

自民党の西川公也農林水産戦略調査会長は6日、米のミニマムアクセス最低輸入機会＝MA)について議論するプロジェクトチーム(P T)を党内に設置したと明らかにした。MAによる年間77万トンの輸入量は、米の消費量が1000万トン超だった過去の実績を基に設定されたまま。消費量が減った現在では「多過ぎる」として、在り方を検討する。P T 座長には小野寺五典元防衛相、事務局長には山田修路参院議員がそれぞれ就任した。

## ■ T P P 閣僚会合 月内開催見送り

【8月8日付1面】

甘利T P P 担当相は7日、T P P 閣僚会合について、「8月中に必ず(開催する)というのは、なかなか厳しい日程」と述べ、今月中の開催を見送る方針をあらためて示した。残る難航課題に各国が決着のめどを立てるのは困難と判断したため。日本は乳製品の過大な

市場開放を求めるニュージーランドなどとの交渉が残っているが「相手の態度が変わらない限り、交渉しても意味が無い」として事務レベル交渉のめども立っていない。

### ■首相 TPP「次」で決着／月内難航、長期化懸念も

【8月8日付2面】

安倍首相は、7日の衆院予算委員会で、TPP交渉について「あと一回閣僚会合が開かれれば決着できるところまで来ている」との認識を示した。自民党の御法川信英氏（秋田）への答弁。甘利担当相は「次の会合で必ず決着できるという環境を整えて、しかるべき後に閣僚会合が設定される」との見通しを示した。ただ、選挙など各国の政治日程を踏まえ、長期化への懸念もにじませた。

以上